

平成29年度 課長方針

部課	都市整備部 まちづくり推進室	室長	丸山 友之
----	----------------	----	-------

課の運営方針
<p>◎コンパクトシティ蕨将来ビジョンに基づき、「魅力ある空間づくり」・「快適で暮らしやすいまちづくり」を推進する。</p> <p>【重点プロジェクト】 重点プロジェクトである「蕨駅西口市街地再開発事業」、「中央第一地区まちづくり事業」を着実に進める。</p> <p>【事業推進のために】 ○市民の目線に立つて考えるとともに、自ら創意と工夫を行いながら業務に取り組む。 ○社会状況の変化を踏まえ、業務遂行にあたっては新たな知識、技術の習得に努める。 ○常に状況を把握し、スケジュールを立て責任を持って対応する。 ○組織力の向上に繋げるため情報を共有するとともに、日々の実務や研修を通じて職員の人財(能力)育成に取り組む。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
蕨駅西口市街地再開発事業	蕨駅西口地区市街地再開発準備組合の活動支援	事業化に向けた協議・支援を進めるとともに、都市計画の変更に向けた手続きを進めていく。	△	市は準備組合と連携を図りながら、事業化に向けJR東日本(株)や警察などを含む関係機関との協議を進めてきたが、都市計画の変更手続きまでには至らなかった。また、市の玄関口に相応しい計画づくりに向け、準備組合に対し、必要な支援と協議を行っている。
中央第一地区まちづくり事業	老朽住宅の建替え促進を図りながら、必要な道路・公園の整備を実施	権利者の意向の把握に努めながら事業を着実に推進する。	○	中央第一地区まちづくりプランに基づき、権利者の意向にあわせながら、道路の拡幅整備を進めている。今年度は、用地買収を5件(138.60㎡)行い、用地の取得率は約21%となっている。また、公共用地先行取得事業特別会計で取得した用地については、国の交付金を活用し、一般会計で買戻しを進めている。

平成29年度 課長方針

部課	都市整備部 建築課	課長	飛澤 正人
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>建築行政、開発行政、住宅行政、営繕行政を通して、市民生活の向上に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に市民ニーズの把握に努めるとともに、市民のために何が最も良い選択であるかを検討し、堅実な経営感覚に基づき予算の執行を図る。 ・まず、自分で考える。正しい答えを導くために、何を根拠にどのように考えるか、別の視点から考えるとどのようになるか、常に自問自答し思考を深化するとともにその過程を明確にする。 ・報告、連絡、相談の徹底を図るとともに、明確な根拠、論理に基づく適切な方針を以って計画的に業務を進め、常に先を読み行動する。 ・口頭により第三者へ伝える際は、相手が把握している情報や知見などを踏まえ、伝えるべき事項を整理し、論理を整え、相手が判るように順序立てて、理解を得られやすくするように明確な根拠を示し、誤解が生じることの無いよう、正確かつ的確に話す。 ・迅速かつ適切な対応を旨とし、客観的事実の正確な把握、法令解釈、分析を踏まえた公正な判断に基づき、課題の解決を図る。 ・業務遂行後は、必ず事務の再確認を行う。 ・新たな知識、技術の習得を実践し、事務遂行能力を高めるよう自己研鑽に努めるとともに、常に自己啓発を図る。 ・情報、記録等の電子化を進め、事務の工夫、効率化を図るとともに円滑な継承を推進する。 ・職務スケジュール、進行管理、職場環境等職務に係る身の回りの全てにおいて整理整頓を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
三世代ふれあい家族住宅取得支援事業	補助金の交付により、市内在住の親世帯とその子世帯の同居・近居を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付件数の向上。 ・昭和56年以前の住宅の建て替え件数の向上。 	◎	広報、ホームページ、チラシ配布、催事での紹介、分譲業者等への依頼等、制度の周知に努めた。制度の周知は浸透し、利用件数も上昇している。
耐震化促進事業	住宅を中心に、市内建築物の耐震化を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断件数の向上。 ・耐震改修件数の向上。 ・昭和56年以前の住宅の建て替え件数の向上。 	△	HP、事業者への制度案内、法令説明会やマンションセミナー等のイベントを通して周知を図るとともに、平成29年度からは住宅耐震化緊急促進アクションプログラムを展開し、戸別訪問により耐震化をお願いしているが、実績が上がっているとは言い難い。

市営住宅管理	市営住宅の運営及び維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費用の効率的かつ効果的な投入を図る。 ・住環境の向上に資する計画的な維持保全を推進する。 ・建物の物理的・社会的劣化に対応するため、不具合の前兆をいち早く察知するとともに計画的に必要な措置を行い、予防保全に努める。 	◎	限られた修繕費用の中で、効率的な維持保全を目指し、費用の抑制を図りながら必要な措置を講じた。突発的な事象に対して、対症療法的な修繕を行うことが主とならざるを得ないが、部材の更新時期、劣化状況等を勘案し、最大限、計画的な修繕を実施している。
施設営繕	市有建築物の耐震工事、改修工事等に係る設計及び施工監理	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事における改修方法、仕様の標準化を推進する。 ・建物の長寿命化を前提に、想定される維持保全や更新を踏まえ、建物生涯にわたる経済性を考慮した設計を行う。 	◎	十分な情報収集を図り、ディスカッションを重ね、経験を共有することで質の高い設計図書の作成を実現した。

平成29年度 課長方針

部課	都市整備部 道路公園課	課長	金井 宏
----	-------------	----	------

課の運営方針
<p>○常に変化する社会情勢の中で、新たな時代のまちづくりに対応できる、柔軟な発想を持った職員の育成や活力ある組織づくりに努める。</p> <p>○業務上の大きな課題の対応は、課全体の一つのテーマとして捉え、その都度、課内全体で議論し、問題の解決を図って行く。</p> <p>○市民目線に立ち、市民の要望、苦情に対しては、誠意をもって迅速に対応できるよう、職員全体の意識を向上させる。</p> <p>○各種台帳、図面、調書等の電子データ化への促進を図り、事務の効率化に努める。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
公園を核にした「花いっぱい運動」の展開	蕨戸田衛生センター内リサイクルフラワーセンターで栽培された花苗を、市民との協働事業として自主管理団体の皆さんと、市内の公園や歩道緑地帯の花壇、プランター等に植栽し、住民同士の交流と安らぎの空間を広げる「花いっぱい運動」を推進し、コミュニティ活動の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の花苗配布の目標値 約17,000ポット ・自主管理団体数の目標値 44団体 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等自主管理団体は当初44団体の設置を予定していたが、会員の高齢化による団体の解散などにより40団体となった。 ・平成29年3月までに当初の目標値を超える20,951ポットの花苗を配布することができ、自主管理団体の皆さんで植栽し管理している。 また、活動顕著な梅の木会(三和稲荷公園)を「花いっぱい運動功労者」として表彰した。

<p>道路・公園の適切な維持管理</p>	<p>道路については、各施設の老朽化が進んでいることから、路面性状調査や道路付属施設点検結果等により、計画的な補修または更新を図る。 公園については、公園施設や遊具の維持管理のほか樹木の剪定などを行う。</p>	<p>・市民生活に欠かすことのできない道路を、安心して快適に利用できるように計画した道路の舗装を遂行すると共に、舗装道の補修等については、迅速に対応し道路の適正な維持に努める。 ・市民が安心して利用できる快適な公園空間が提供できるよう適正な維持管理を目指す。</p>	<p>◎ ・舗装道補修工事は、予定していた4路線の舗装補修工事及び2路線の側溝布設替え等の工事を、計画通り施工することができた。また、道路陥没については、迅速に緊急対応したことから、安全な通行環境を確保することができた。 ・公園については、金山公園の砂場に犬猫侵入防止柵、しいのき公園外4公園にブランコマット(5公園10箇所)、市民公園に健康遊具を3基、富士見第2公園に防球ネットを設置する工事を実施した。また、北町桜並木(見沼代用水新替用水)においては、落葉対策や樹勢回復を図るため剪定を実施した。</p>
<p>橋りょう長寿命化修繕計画の策定</p>	<p>平成28年度に実施した橋りょう定期点検の結果を踏まえ、蕨市が管理する橋りょう59橋の更新・修繕計画を検討し策定する。</p>	<p>・費用対効果の高い改修方法を選定し、概算費用を算出する。 ・関係機関と協議を行いながら、安全で効率的な施工方法を選定する。</p>	<p>◎ ・対象橋りょう59橋について、修繕方法や必要な経費、優先順位などを検討した上で、費用対効果や予算の平準化を考慮した修繕計画を策定することができた。 ・点検、診断の結果、危険性の高い橋りょうについては、早期に措置を講ずる必要があるため、優先的に修繕を実施する計画とした。</p>
<p>道路台帳図の電子化</p>	<p>既存の紙台帳図を画像化し、更にトレースしてデジタル化したものと航空写真とを照合することにより、最新の現況に沿った電子データ図面を作成する。</p>	<p>道路台帳図の電子化により、品質の保持や省スペース化が図れるほか、各種データとの相互利用が可能となり、事務の適正化・効率化を目指す。</p>	<p>○ ・既存の紙ベースの道路台帳図面について、世界測地系座標に対応した電子化を行うことができた。 ・作成した路線網図データ及び台帳画像図データは、平成30年度の上半期中に市のホームページでの公開を予定しており、道路台帳図の閲覧に求められる方々の負担軽減や、サービスの向上及び行政運営の効率化を図る。</p>
<p>末広公園整備工事</p>	<p>蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路との一体的な整備とするもので、昨年度のワークショップによる検討を盛り込んだ公園の整備工事を実施する。</p>	<p>蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路との一体的な整備とすることで利用者の利便性や快適性を向上させ、また、老朽化した遊具等のリニューアルなどにより、子供から高齢者まで幅広い世代がふれあえる公園整備をするもの。</p>	<p>◎ 地域住民によるワークショップにより、地域の特性や利用者のニーズなどの意見を取り入れた改修内容とし、老朽化している公園施設や遊具等のリニューアルを実施することができた。</p>

平成29年度 課長方針

部課	都市整備部 区画整理課	課長	青鹿 正
----	-------------	----	------

課の運営方針

【錦町土地区画整理事業の促進】

- 事業の早期完了を目標とし、計画的かつ効率的な業務の執行に努める。
- 事業を円滑に進めるため、関係権利者等への積極的な情報提供、丁寧な対応に努める。
- 関係権利者への説明責任を果たすために、事務事業の根拠法令などの確認に努める。
- 事業に必要な知識や技術の習得など、積極的な自己研鑽に努める。
- 挨拶の励行及び、適切な時期における報告、連絡、相談を徹底する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
錦町土地区画整理事業	仮換地指定の拡張	仮換地指定を年度内3回程度(29年7月・11月・30年3月頃)実施し、指定箇所を拡張する。	◎	7月、11月及び、30年3月に審議会を開催し、121BLなどの仮換地指定を実施。仮換地指定率81.0%。
	家屋移転の推進	国庫補助金を活用し、錦町6丁目地内の旧県道・朝霞蕨線の沿道を中心に20棟の家屋移転、それに伴う宅地造成、電気・ガス等供給施設の移設などを行う。	○	国庫補助金の減額に伴う事業内容の見直しにともない、前年度からの繰越明許分11棟との組替えなどを行い、最終的には合計28棟の家屋移転を実施。
	街路築造工事の推進	家屋移転箇所を中心に、路線延長約570mの街路築造工事を行う。	○	国庫補助金の減額に伴う事業内容の見直しにより、家屋移転箇所を中心に10路線、延長約487mの街路築造工事を実施。
	舗装新設工事の推進	国庫補助金を活用し、都市計画道路・元蕨法ヶ田線の延長118mの舗装新設工事を行う。	◎	都計道・元蕨法ヶ田線等の延長177mに加え、前年度からの繰越明許分として都計道・錦町松原線等の延長184mの舗装工事を実施。
	排水路整備工事の推進	現況排水路の付替えとして、錦町6丁目地内に延長196mのボックスカルバートの整備工事などを行う。	◎	延長201mのボックスカルバート整備工事を実施。

平成29年度 課長方針

部課	都市整備部 下水道課	課長	外裏 雅一
----	------------	----	-------

課の運営方針
<p>・下水道課職員は、下水道事業が市民に快適で安心な生活環境を提供する重要な社会基盤整備であることを常に忘れず、効率的で効果的な整備促進と維持管理に努める。</p> <p>・一人ひとりが担当業務に関する知識・技術力を高め、課内でアイデアを出し合っって業務改善を行うことで無駄を排除し、下水道経営の健全化に取り組む。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
管路築造事業	錦町における分流式下水道の整備を進める。	雨水管渠築造工事(29-1工区)、内径2,200mm、延長約108mを推進工法で実施する。 また、錦町土地区画整理事業における家屋移転の進捗に合わせ、汚水管渠築造工事を実施し生活環境の改善を図る。	○	雨水管渠築造工事の一部は、年度を繰り越して平成30年5月末に完成予定となるが、汚水管渠築造工事については、家屋移転の進捗に合わせ年度内に完成した。
管路長寿命化対策事業	平成28年度に策定した下水道管路長寿命化基本計画に基づき第1期分の改築工事を計画するための管路調査を行い、詳細計画を策定する。	調査結果を基に効率的な改築修繕箇所と工法を選定し、その実施時期や概算費用などをとりまとめる。	◎	平成29年度内に既設管路の第1期分改築・修繕工事を計画するための管路調査を行い、詳細計画の策定を完了した。
ポンプ場設備修繕	南町ポンプ場において、「コントローラー盤CPU交換」、「しき搬出機キャリアローラー交換」を実施する。	各修繕の実施にあたっては、ポンプ場の施設機能への影響をできるだけ小さく抑える。	◎	平成29年度の南町ポンプ場における各修繕は、ポンプ場施設に大きな影響を与えることなく年度内に完成した。